



NGK SPARK PLUGS

SUZUKA 2&4 RACE



MOBILITY LAND

<http://www.mobilityland.co.jp/>

鈴鹿サーキット イベントレポート



公式B2ポスター

【イベント概要】

- イベント名：2017 NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース
- 日時：2017年4月22日(土) 公式予選/決勝レース
4月23日(日) 決勝レース
- 開催レース：2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第1戦
2017 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
(JSB1000 鈴鹿200km耐久・"コカ・コーラ"鈴鹿8耐
第40回記念大会出場選抜レース8耐トライアウト1st.ステージ)
2017年 全日本フォーミュラ3選手権 第4戦&第5戦
2017 N-ONE OWNER'S CUP Rd.4
- 主催：(4輪) グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS)
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
株式会社モビリティランド
(2輪) 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
株式会社モビリティランド
- 公認：(4輪) 国際自動車連盟 (FIA)
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
(2輪) 国際モーターサイクリズム連盟 (FIM)
一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
- 後援：スポーツ庁/観光庁/三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所/東京中日スポーツ/
中日スポーツ/中日新聞社
- 冠協賛：日本特殊陶業株式会社
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(4輪5.807km、2輪5.821km)
- 天候・動員：4月22日(土) 晴れ 18.6℃ 21,000人
23日(日) 晴れ 20.7℃ 35,000人

【メディア概要】

■ 取材者数：105媒体 256名

■ テレビON AIR：スーパーフォーミュラ

BSフジ 4月23日(日) 13:35~14:55 決勝生中継
「スーパーフォーミュラ GO ON!」
5月13日(日) 23:00~23:55

J SPORTS 4月22日(土) 13:50~(J SPORTS 3) 予選生中継
23日(日) 13:10~(J SPORTS 3) 決勝生中継

GYAO! 大会終了後10日後より決勝レースをオンデマンド配信
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

YouTube 予選ならびに決勝の映像をダイジェスト版で当日夜配信
Superformulavideo-YouTube
<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

全日本ロードレース選手権

BS12 TwelV(トゥエルビ) [RIDE&DRIVE]
4月29日(土) 27:00~27:54

MFJ Live CHANNEL

サーキット場内監視ポストの映像に外部カメラ映像をプラスし配信
YouTube YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」で予選・決勝
直後のライダーインタビューを中心に動画配信

■ 公式サイト：鈴鹿サーキット <http://www.suzukacircuit.jp/>

スーパーフォーミュラ <http://superformula.net>

MFJスーパーバイク公式ファンサイト <http://www.superbike.jp/>

※気象状況は各日とも津地方気象台 15:00発表
[2016年実績]
4月23日(土) 曇り 19.2℃ 22,000人
24日(日) 曇り 22.2℃ 32,000人



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

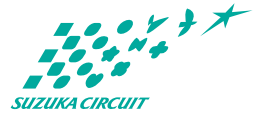
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

スーパーフォーミュラとJSB1000、4輪と2輪の国内最高峰レースが今年も鈴鹿を舞台に開幕!



国内トップフォーミュラ「全日本スーパーフォーミュラ選手権」と、国内ロードレースの最高峰 全日本ロードレース選手権シリーズの頂点クラス「JSB1000」が今年も鈴鹿サーキットを舞台に開幕。昨年に引き続き、日本特殊陶業株式会社様の冠協賛をいただき「NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4レース」として華やかな雰囲気の中、いよいよ本格的なモーターススポーツシーズンがスタートしました。

【スーパーフォーミュラ】

ポールポジションの中嶋一貴が好スタートで1コーナーへ。3番手スタートの山本尚貴が2番手スタートの国本雄資を抜いてポジションアップすると、レースはこの2台の一騎打ちとなりました。序盤は山本が差を詰めるシーンもありましたが、中嶋は途中コース上に止まったマシンを排除するためのセーフティカーラン後の再スタートを鮮やかに決めて一気に1秒以上のマージンを築き、その後は追う山本を徐々に引き離しそのままチェッカー。安定した走りでの2015年第5戦以来となる9回目の優勝を飾りました。



決勝結果

優勝	中嶋 一貴
2位	山本 尚貴
3位	国本 雄資

TEAM

VANTELIN TEAM TOM'S
TEAM MUGEN
P.MU/CERUMO・INGING

ENGINE

TOYOTA R14A
Honda HR-417E
TOYOTA R14A

※シャシーはSF14、タイヤはヨコハマのワンメイク

【JSB1000】

JSB1000の開幕戦は昨年同様35周の200kmレースとして、また「コカ・コーラ」鈴鹿8耐への選抜レースとして開催されましたが、レースは大波乱の展開に。なんとオープニングラップで注目の清成龍一(MORIWAKI MOTUL RACING)が転倒。このアクシデントにより介入したセーフティカーラン中に、6連覇と8度目のタイトルをめざす中須賀克行(YAMAHA FACTORY RACING TEAM)が転倒。その後レースを支配したのは高橋巧。独走状態でリードを広げ、3年ぶりの優勝を果たしました。後方では津田拓也と藤田拓哉が競り勝ち、表彰台を獲得しました。



決勝結果

優勝	高橋 巧
2位	津田 拓也
3位	藤田 拓哉

MACHINE

Honda CBR1000RR SP2
SUZUKI GSX-R1000R
YAMAHA YZF-R1

TEAM

MuSASHi RT HARC-PRO.Honda
ヨシムラスズキMOTUL
YAMALUBE RACING TEAM

TIRE

BS
BS
BS

※BS…ブリヂストン

【サポートレースウィナー】

全日本F3選手権 第4戦



高星 明誠



Nクラス 霜野 誠友

全日本F3選手権 第5戦



高星 明誠



Nクラス 霜野 誠友

2017 N-ONE
OWNER'S CUP Rd.4



坂井 拓斗

※詳細なレポート・リザルトは以下をご参照ください。

鈴鹿サーキット公式ウェブサイト
<http://www.suzukacircuit.jp/>

スーパーフォーミュラ公式ウェブサイト
<http://superformula.net/>

MFJスーパーバイク公式ファンサイト
<http://www.superbike.jp/>

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

■ 広報展開

【プレスリリース】

- 1月13日(金) 開催概要およびチケット発売のご案内
- 3月10日(金) 鈴鹿サーキットクイーンデビュー
- 3月17日(金) NGKブース特別展示



プレスリリース 1月13日(金)



プレスリリース 3月10日(金)



プレスリリース 3月17日(金)

【自社Facebook】

ライダー/ドライバー コメント 計29万リーチ 60,827回再生



オンボード映像CM 45,000リーチ 14,000回再生



■ 宣伝展開

【記事タイアップ】 主要レースWEB媒体他 2月～直前まで継続的に展開



昨年に引き続き冠スポンサーとしてご協賛いただいた日本特殊陶業株式会社様には、NGKスパークプラグを装着したレーシングマシンの展示やデモランなど、NGKスパークプラグにちなんだイベントなどを多彩に展開していただきました。



NGKスパークプラグを装着し、MotoGP™、鈴鹿8耐で活躍した2輪マシン。右からHonda RC213V(2016)、YAMAHA YZF-M1(2017)、YAMAHA YZF-R1(2016)の特別展示(GPスクエア)。



NGKスパークプラグを装着し、F1で活躍したFerrari F14 T(2014)の特別展示(GPスクエア)。



NGKスパークプラグを装着し、F1で活躍したLotus 100T(1988)のデモラン。中嶋悟氏のドライブで行われました。



Lotus 100Tは特別展示に加えてエンジン始動も披露されました(GPスクエア)。

PICK UP 1

GPスクエアに設置された「NGKスパークプラグ 鈴鹿2&4スペシャルステージ」では、さまざまなイベントが行われました。



スーパーフォーミュラ「DOCOMO TEAM DANDELION RACING」村岡潔監督のトークショー(22日)。



JSB1000クラスでSUZUKIマシンを駆るライダーのトークショー。右から加賀山就臣、浦本修充、津田拓也の各選手(22日)。



さまざまなイベントを華やかに盛り上げた「NGKスパークプラグガールズ」の撮影会。



お客さま参加による楽しいゲーム(写真)やプラグ交換体験なども行われました。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



コントロールタワー屋上に掲げられたNGKスパークプラグ旗。



コースサイド各所に設置されたNGKスパークプラグ看板。



園内各所を彩ったあざやかなNGKスパークプラグのぼり。同日開催されたEnjoy Hondaのぼりとともに掲出されました。



NGKスパークプラグのカラーリングをまとったオフィシャルカー Honda S2000とHonda S660。



決勝レース開始前に大会の開会宣言を行っていただいた、大会特別名誉会長で日本特殊陶業株式会社 代表取締役会長兼社長の尾堂真一様(23日)。



スーパーフォーミュラ決勝スタート進行前にコース上に掲げられたNGKスパークプラグのビッグフラッグ(23日)。



JSB1000表彰式は、大会特別名誉会長で日本特殊陶業株式会社 代表取締役 会長兼社長の尾堂真一様にプレゼンターをつとめていただきました(23日)。



スーパーフォーミュラ表彰式は、大会特別名誉副会長で日本特殊陶業株式会社 取締役 専務執行役員 川合 尊様(右から4人目)にプレゼンターをつとめていただきました(23日)。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

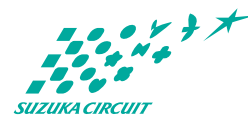
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン3



素敵な賞品がプレゼントされるじゃんけん大会が行われたYAMAHAブース。



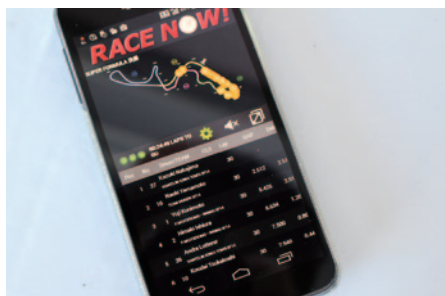
ニューモデルの展示・搭乗体験が行われたSUZUKIブース。



JSB1000マシン「ZX-R10」が展示されたKawasakiブース。



スーパーフォーミュラ各チームのキャンペーンガールが訪れたスーパーフォーミュラ(JRP)ブース。



スマートフォンでライブタイミング、マシンのポジションなどレース状況がわかる無料アプリ「RACE NOW!」が登場しました。



スーパーフォーミュラ決勝フォーメーションラップスタート1分前のエンジンスタートコールを行っていただいたのは末松則子鈴鹿市長(23日)。

PICK UP 2

各チームの拠点であるピットを訪問し、スタッフからの説明や選手とのふれあいを体験していただいたプレミアムイベント「ピット訪問ツアー」が実施されました。



©TEZUKA PRODUCTIONS



©TEZUKA PRODUCTIONS

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

大会期間中、園内では「Enjoy Honda 2017 鈴鹿サーキット」が開催されました。「楽しみいろいろ FAN FUN PARK!」をテーマに、GPスクエアを中心に製品展示や企業活動のご紹介をはじめさまざまなイベントが華やかに展開され、Hondaユーザーのみならず、多くのお客さまにお楽しみいただきました。



F1ドライバー気分を味わっていただいた「McLaren-Honda MP4-31コックピット体験」。



ハングオン走行の感覚を体感していただいた「なりきり! Moto GP™ライダー」。



トライアルライダーのセクションアタックの感覚を実感いただいた「なりきり! トライアルライダー」。



SUPER GTで活躍した「Honda HSV-010 GT コックピット体験」。



特設セクションを使ってトライアルの妙技をお楽しみいただいた「トライアルバイクショー」。



急速に人気が高まっている自転車トライアルの体験が特設会場で実施されました。



2歳から乗れるランニングバイク「ストライダー」の試乗会やレース体験が実施されました。



Honda S660が大集合、レーシングコースをパレードした「S660 Owners Parade 2017」。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



話題のNSXのコックピット体験などをお楽しみいただいた「Honda ライフスタイル ～NSX編～」。



NSXの助手席に乗って、そのパフォーマンスを体感いただいた「NSX同乗体験」(交通教育センター)。



「東京オートサロン」で日本初公開され大きな話題を呼んだ3台のCIVICプロトタイプ(写真はシビック TYPE R)が展示されました。



本物のバイクにまたがり、アクセル操作でエンジン音や振動を感じていただいた「はじめてのバイクエンジン始動体験」。



バイクに乗る楽しさと感動を親子でご体験いただいた「親子バイク教室」(交通教育センター)。



インストラクターの指導のもと安全にバイクの魅力をご体験いただいた「ファーストバイク体験」(交通教育センター)。



衝突軽減ブレーキ(CMBS)をご体験いただいた「Honda SENSING体験」(交通教育センター)。



話題の燃料電池車「CLARITY FUEL CELL」や「シビックプロトタイプ」などHondaの最新モデルのパフォーマンスをご体感いただいた「クルマ試乗会」(国際南コース)。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【大会冠ご協賛】



日本特殊陶業株式会社

【PR・販売ブースご出展各社】



株式会社M-TEC
株式会社カワサキモーターズジャパン

株式会社スズキ二輪
日本特殊陶業株式会社

株式会社日本レースプロモーション
ヤマハ発動機販売株式会社

【サーキットビジョンご協賛各社】



コカ・コーラ
日本特殊陶業株式会社
Perform Investment Japan株式会社
本田技研工業株式会社
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー72p 12,000部発行

株式会社アライヘルメット
株式会社エクセディ
株式会社カワサキモータースジャパン
株式会社ジェイ・スポーツ
株式会社スズキ二輪

住友ゴム工業株式会社
日本特殊陶業株式会社
一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
株式会社ブリヂストン
本田技研工業株式会社

株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
ヤマハ発動機販売株式会社
横浜ゴム株式会社

【応援席ご利用】



株式会社カワサキモータースジャパン
株式会社スズキ二輪
トヨタ自動車株式会社

本田技研工業株式会社
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
ヤマハ発動機販売株式会社

【サンプリング】



株式会社ジェイ・スポーツ

【ホスピタリティラウンジご利用社】

日本特殊陶業株式会社
株式会社日本レースプロモーション
横浜ゴム株式会社

【ホスピタリティテラスご利用各社】

CERUMO-INGING

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

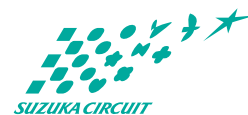
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2017年4月1日現在